

7 路網整備

林内路網は、森林の多面的機能を持続的に発揮していくための基盤となるもので、それぞれの役割に応じて適切に組み合わせた路網ネットワークの整備を進める必要があります。林内路網は、森林の適正な管理や効率的な林業経営に欠かすことのできない施設であるとともに、山村の生活環境の維持、都市との交流や連携、地域の振興等に重要な役割を果たしています。

路網整備事業では、一般車両の走行も想定した、森林基幹道・森林管理道・林業生産基盤整備道と、林内作業用車両の走行を想定した林業専用道の開設を行っており、事業の実施にあたっては、工事開始前に自然環境や路線計画についての全体計画調査、事業着手時及び実施途中における事業評価を行うとともに、低コスト工法や環境にやさしい間伐材を利用した工法などを採用し、自然環境の保全や事業費の縮減にも努めています。

－ 林 道 －

不特定多数の者が利用する恒久的施設であり、森林の整備や木材生産の効率化・森林施業の集約化を進めるうえで必要不可欠な道路です。林道は、林業生産活動に加えて、山村地域の生活道や災害時の避難路、また、森林浴を楽しむ人々のためのアクセス道としても利用されるなど、山村の生活環境の改善や地域振興などの役割も担っています。

－ 林業専用道 －

主として特定の者が森林施業のために利用する恒久的施設であり、幹線となる林道を補完し、森林作業道と組み合わせて、森林作業道の機能を高め、木材輸送機能を強化するものです。

従来の林道と比較して、地形に沿った屈曲線形及び波形勾配を採用して土工量の軽減を図り、丈夫で簡素な構造の林道整備を進めています。



林業生産基盤整備道 アリサラップ支線（占冠村）
森林整備への利用はもとより、山村の生活環境の改善や地域振興などの役割も担う路網
（20t 積トラック等の通行を想定）



林業専用道西和東線（和寒町）
林道を補完し、集材や木材の搬出を効率的に行えるよう配置
（10t 積トラック等の通行を想定）